

ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 謙虚なリーダーシップ

エドカー・H・シャイン 著 英治出版

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年7月1日 Vol. 213

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

ライフコンサルタント 渡邊 敏徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

コロナ後の社会

最近はいろんなところで『これからの社会は変わるよね』という話をよく耳にします。新型コロナウイルスによる日本社会への影響は想像以上に大きいと感じます。

在宅ワークひとつとっても、公共交通機関や車を使わなくなること、JRや私鉄、ガソリンスタンドが大きく影響を受けます。出社しないことで勤務地の飲食店やコンビニエンスストアの売り上げにも同じく大きな変化が起こります。考え出したらあれもこれもとたくさん出てきます。逆に恩恵を受ける業界も出てくることも確かです。

私たち人類が今まさにその分岐点に立っていることを、今回のコロナ・ショックは如実に教えていると思うのです。

この新型コロナウイルスが、人々の健康と世界の経済を危機に陥れている一方で、人間が作り出した文明が活動を停止せざるを得ない状態になりました。そのことで、世界中の美しい自然が回復しています。

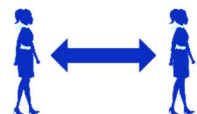
インドにおいてはガンジス川が透明になり、ヒマラヤ山脈の頂上が30年ぶりに200kmの距離から見られるようになりました。また、ベネチアの運河が綺麗になったことで普段はいない白鳥や魚の姿が見られるようになったそうです。インドでも、中国でも、アメリカでも、大気汚染物質の濃度が劇的に改善し、世界でも、日本でも、空が澄み渡っています。

医学も、科学も、政治も、そして経済も、いろんな考え方を駆使して対策してきたにも関わらず、あまり役に立たず効果をあまり感じませんでした。どんなことに私たちはこれから安心感を得ることができるのでしょうか。

私たち人類が築き上げてきた文明は、劇的な結果をこれから生み出すことができるのでしょうか。これまでのやり方で、大切にしてきたものを破壊してしまい、健康や豊かさ、そして環境を大切にする生き方を守れるのでしょうか？その選択を真剣に考える機会がこの

新型コロナウイルスだとすると、私たち自身の未来だけでなく、未来の子ども達のためにも考え直すいいチャンスだと思います。

SOCIAL DISTANCE
ソーシャル・ディスタンス



感染対策のため、間隔を保ちましょう。



天気言葉

今は梅雨の真っただ中ですが、天気予報でよくつかわれる言葉について意外と知らないことが多くてビックリです。先月6月25日の早朝に地鳴りや揺れの報告が続出！千葉県東方沖はM6.2の地震が発生しました。6月4日には三浦半島で『謎の異臭』、5月には東京湾で7回も地震が発生。そして6月11日には『メガマウス』を捕獲！今年2020年発生説のある南海トラフ地震・首都直下地震などの巨大地震にもこれから要警戒となりますね。私たちは毎日の生活の中で、「天気や地震の情報」にごく自然に触れていますが、意外と知らないことが多い事に気がつきます。よく耳にする「天気言葉」ですが、「くもりときどき雨」と「くもり一時雨」はどう違うのでしょうか？

- ・花ぐもり・・・桜がさくころに、空全体が薄く曇ること。
- ・夏日・・・最高気温が25℃以上の日。
- ・真夏日・・・最高気温が30℃以上の日。
- ・熱帯夜・・・最低気温が25℃以上あった日。
- ・平年なみ・・・過去30年の平均値と同じくらいのこと。
- ・一時・・・ある天気の状態が、1日の1/4未満のこと。
- ・ときどき・・・ある天気の状態が1時間以上間隔をあけて起こり、その合計時間が1日の1/2未満のこと。
- ・真冬日・・・最高気温が0℃未満の日。



【座右の銘にしたい名言】



できると思えばできる、できないと思えばできない。これは、ゆるぎない絶対的な法則である。（パブロ・ピカソ/スペインの画家）